



こんにちは

日本共産党  
世田谷区議会議員

# 日本共産党 坂本みえこ です

2025年  
4月号

坂本みえこ事務所●世田谷区太子堂4-5-2 TEL 03-3419-7721 FAX 03-3419-7673

日本共産党世田谷区議団は、令和7年度世田谷区一般会計、国民健康保険事業会計、介護保険事業会計及び学校給食費会計予算に賛成し、後期高齢者医療会計予算に反対しました。

今回、国民健康保険料が引き下がることになり、国民健康保険事業会計について、賛成の立場をとることになりました。物価高騰などで区民生活が深刻なもと、引き下げは当然です。

## 国民健康保険事業



は、低所得者が多いために保険料が高いという構造的な問題があります。国保料は家計にとって非常に大きな負担です。若い世代への負担軽減のためにも、子どもの均等割り減額の対象を拡充すべきであり、財源の公的投入で、さらなる値下げへの転換、国や都への働きかけを求めました。

後期高齢者医療については、この間窓口負担が引き上げられ、深刻な受診抑制が起きているといわれます。病気にかかりやすく、治療に時間もかかる高齢者の

# 2025年度 新年度予算について

窓口負担は、現役世代より低くしてこそ、世代間の負担の公平を図ることができます。高齢者の命と健康を脅かすだけの、高齢者医療を別建てにした制度そのものが問題です。自治体独自に財源を投入するなど保険料の引き下げを求めていました。

## 声を上げて実った施策

新年度予算では、陳情などにより示された区民意見を



反映した「福祉人材確保」「保育施設への経営支援」「補聴器購入費助成の対象拡充」などの施策が実現しました。そのほかにも世田谷若者フェアスタート事業の医療費などへの拡充、世田谷Payによる支援、債権管理重点プランに基づく生活困窮者等に対する必要な支援への連携のとりくみ、困難な問題を抱えた女性への支援などが前進しました。

戦後80年、平和都市宣言40周年、せたがや未来の平和館10周年。様々な催しを企画し、世田谷区から核兵器の廃絶と和平への取り組みを進めます。災害時の対応では、マンション防災の

推進に踏み出しました。

パートナーシップ10周年記念の取り組

みでは、多様性を尊重し、理解促進を図るとして、イベント等を通じて、さらに人権を大切にする姿勢を強めています。

## 子どもが学び育つ環境の整備

「学習する都市推進予算」と名付けられた今年度予算は、子どもたちが学び育つ環境の整備、教員の多忙化解消など教育関連の多くの施策が示されました。地域・社会でも自分らしく学ぶ機会、社会教育・生涯教育をすすめる立場で、文字通り「参加と協働」、区民が主人公の世田谷区にしていくための予算としての位置づけです。しかし、公共施設の使用料の値上げは、逆行しているといわざるを得ない。住民自治を担う住民を広げることが、災害時にも生きてきます。とりわけ物価高騰が続き、区民の暮らしが厳しいときの施設使用料の値上げは問題であり、受益者負担の考え方を改めるべきと指摘しました。



## 教育

### 区独自教員の配置による教育の質の向上（予算額3,345万円）

小学校を対象に、配置先の学校を固定しない教員を「学級経営支援教員」として配置。教科担任制を担う専任の区費講師を加配。

### 配慮を要する児童・生徒への支援の拡充（予算額11億4,312万円）

インクルーシブ教育支援チームが全校を訪問し、学校への助言等を行う。

小学1年生の学級担任を補助するエデュケーション・アシスタントを1名ずつ配置。

特別な支援が必要な児童・生徒の個別の見守りを行うインクルーシブ教育支援員増。

### 学びの多様化学校等の開設準備

### 小学校における登校時間前の児童の見守り



## 災害・危機管理

### 在宅避難（マンション防災）推進 (予算額3億9,678万円)

共助を促す災害対策備品を供与。1棟あたり最大30万円、1,000棟程度のマンションに活用。

### 住まいの防犯対策サポート事業 (予算額2億303万円)

録画機能付きインターホン、監視カメラ、飛散防止用ガラスシートなど、4万円を上限に補助。



## 子ども・若者

### せたがや若者フェアスタート事業 (世田谷区児童養護施設退所者等支援事業) (予算額4,652万円)

医療費にかかる経費の一部を助成。  
家賃補助拡充。賃貸住宅保証料補助。  
資格等取得支援の拡充。  
高等学校卒業程度認定試験補助。

### 乳幼児短期緊急里親モデル事業

### 「せたがや若者ファンディング」

### 中学生・高校生世代の学習スペース等の確保

## 平和

### せたがや未来の平和館開館 10周年（予算額1,009万円）

シンポジウム、記念誌発行。

常設展のリニューアル、施設名のサインを一新など。



## 経済・産業・地域コミュニティ

### せたがやPay（予算額3億3,681万円） 3%から最大20%還元の物価高騰対策を実施。

### 産業活性化拠点（HOME/WORK VILLAGE） 開設

地域コミュニティの  
担い手づくり支援事業



## 健康・福祉

### 福祉人材の確保・育成・定着支援事業 (予算額3億1,018万円)

資格取得費用の助成、キャリアアップのための研修受講料助成、定着支援として、電動アシスト自転車等購入費用助成。

### 困難な問題を抱えた女性への支援 (予算額2,069万円)

女性相談窓口の改善、若年女性が安心して過ごせる居場所提供、民間団体等への補助。経済的な困窮への支援体制の強化。

### 世田谷区介護事業者経営改善支援事業

### 犯罪被害者等支援事業

### 補聴器購入費助成対象拡大



## パートナーシップ

### パートナーシップ10周年 (予算額293万円)



シンポジウムの開催、事業の振り返りなどを通じて、制度全体の点検・改善のきっかけに。